

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU-R部会  
地上業務委員会(第13回) 議事概要

1 開催日時

平成22年10月26日(火)10:00~12:30

2 場所

総務省 11階 1101会議室

3 出席者(敬称略、順不同)

[構成員]

高畑 文雄(主査)、足立 朋子、飯塚 留美、橋本 明、中村 勝英、阪田 史郎、中津川 征士(関係者)

[説明者]

大木 隆太郎、樫木 勸史郎、清水 芳孝、山本 武志、三留 隆宏、宮寺 好男、岩間 美樹、宮澤 義幸、小林 孝、荒木 正治、枚田 明彦

[事務局]

山崎係長、中村官(移動通信課)、成瀬補佐、丸橋係長、中野官(衛星移動通信課)、中村補佐、上野係長、小黑官(基幹通信課)

4 配付資料

資料地-13-1	地上業務委員会(第12回)議事要旨(案)
資料地-13-2	ITU-R SG5 関連会合報告書(案)
資料地-13-3	ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書(案)
資料地-13-4	ITU-R SG5 関連会合への対処方針(案)
参考資料1	ITU-R SG5 関連会合の開催案内(WP5A,5B,5C)
参考資料2	ITU-R SG5 会合の開催案内
参考資料3	ITU-R SG5 関連会合の日本代表団一覧
参考資料4	地上業務委員会 構成員名簿

## 5 議事概要

### (1) 地上業務委員会(第12回)議事概要について

#### 【資料地13-1】

地上業務委員会(第12回)議事概要(案)について、事務局から説明があった。

なお、修正がある場合は平成22年11月2日(火)までに事務局に連絡する旨了承された。

### (2) ITU-R SG5 関連会合の報告について

#### 【資料地13-2】

事務局から、平成22年5月に開催されたWP5A、5B、5C(第4回)会合及び同年4月末から開催されたJTG5-6第5回会合の報告があり、特段の意見なく承認された。

### (3) ITU-R SG5関連会合への日本寄書について

#### 【資料地13-3-1】及び【資料地13-3-2】

大本氏から「Report ITU-R F.2086(固定BWAの技術的及び運用上の特性と応用)の改定」について、樫木氏から「PDNLレポートITU-R [LMS.GRS]の作業文書の改訂提案」に関する寄与文書案の説明が行われ、特段の質疑はなく承認された。

#### 【資料地13-3-3】及び【資料地13-3-4】

清水氏から「広域センサー・アクチュエータネットワークに関する新勧告草案の提案」及び「広域センサー・アクチュエータネットワークに関する新レポート草案の修正提案」に関する寄与文書案の説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本構成員:資料13-3-3について、スコープの後半のアンダーラインの箇所の「It provides the system…」というところは、「Annex1 includes the system…」とすると分かりやすいと思う。

橋本構成員:FIGURE1が分かりにくい。タイトルが「Density of sensors / actuators…」となっているが、グラフでは「Population density」となっていて、さらに「Village, Town, City」が示されている。このように規定できるものなのか。更に「Village, Town, City」は「市町村」に対応するものと思われるが、英語では「Urban, Rural」と言ったりすることもある。「Population」の軸が必要かも含めて、現地で専門家に聞いて適宜調整して欲しい。

清水氏 :了。

樫木氏 :資料13-3-3の寄与文書のタイトルについて、working documentの修正ということになっているが、この寄与文書はPDNRの修正を目的とするので

あれば、もっと直接的なタイトルにしなければならないのでは。

橋本構成員：PDNRをアップグレードする旨が、この文書のIntroductionなどに書いてあるならば、タイトルはこれで問題ない。

清水氏：Proposalに記載してある。

高畑主査：それでは「It provides」の部分を修正した上で、ITUに提出することとする。

#### 【資料地13-3-5】及び【資料地13-3-6】

山本氏から「ITSのガイドラインと目標」の暫定新勧告案の改訂提案」及び「高度ITS無線通信に関する報告に向けた作業文書の修正提案」の寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

足立構成員：資料地13-3-5、p78のg)の追加部分について、ISO/TC204でcooperative systemsのアプリケーションを規定しているという趣旨であれば、動詞(considerなど)を入れなくては意味が通じない。

山本氏：趣旨はそのとおりであるので修正させていただく。

橋本構成員：p77の「Question ITU-R 205-4/5」という記述はいらないので削除。また、p79のrecommendsの「radio interface」は「radio interface options」とすると内容と整合する。

橋本構成員：ほか、エディトリアルであるが、資料地13-3-6の寄与文書p89のタイトルについて、最後の「ITU-R REPORT M.[LMS.AITS]」の挿入位置を変えて「DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[LMS.AITS]」とするのが正しい。

山本氏：そのとおりであるので修正させていただく。

中津川氏：資料地13-3-5、p78のh)の追加部分について、「the next generation vehicular communication」はもう少し具体的な記述はできないか。難しければこのままで良いが。

山本氏：検討はしているが、具体的な記述となると難しい。

高畑主査：それでは、明確にするべき点は修正した上でITUに輸入することとする。

#### 【資料地13-3-7】

三留氏から、「5000-5010MHz帯RNSSと隣接帯域の4990-5000MHz帯電波天文との両業務と提案されている新AM(R)Sシステムとの両立性に関する初期検討」に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本構成員：日本語概要の要旨の「WP5Bから」というのは、「WP4Cから」の誤りではないか。また、WP4Cからの提案を受けてとのことだが、これはWP4Cの提案内容は全部入っていると考えて良いのか。

- 三 留 氏: WP4Cの誤り。修正する。また、本寄与文書はWP4Cの内容を踏まえている。  
足立構成員: p112の2つ目のマーカーの部分の「as an example RNSS」は「as an example of RNSS」とすべき。  
三 留 氏: 「of」はなくても正しいと思うが、その方が良いということであれば修正する。

【資料地13-3-8】及び【資料地13-3-9】

宮寺氏から、「海上移動業務バンドにおけるデータ通信システムのためのVHFデータリンクプロトコルに関する暫定新勧告案に向けた作業文書」及び「AIS応用特定メッセージの使用に関するガイダンスについてのIMOからのリエゾン文書に対するコメント」に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本構成員: 資料地13-3-8のp130、細かい指摘になるが、consideringのa)のof the World Radiocommunication Conferenceは直前に(Rev.WRC-2000)と記述してあるので不要である。また、consideringのb)のセンテンスはもう少し短くまとめた方がよい。

宮 寺 氏: 了。

橋本構成員: recognizingのb)の[ ]の日付は、どこかを引用しているものか。

宮 寺 氏: これはCPMLレポートの日付。

橋本構成員: 了。すでにRegulationに入っているとかでなければ、[ ]のままでよい。

足立構成員: 資料地13-3-9について、IMOの文書を参照するとのことであったが、リエゾンもIMOの文書を参照するというものになっているのか。

宮 寺 氏: 参照する内容になっている。

中津川氏: 資料地13-3-9の資料冒頭の提出者が「Japan」となっているが、これは「WP5B」ではないのか。

宮 寺 氏: 今のところはまだ日本の提案という段階である。

高畑主査: それでは、資料地13-3-8については必要な修正を、資料地13-3-9についてはそのままということでITUに入力することとする。

【資料地13-3-10】及び【資料地13-3-11】

小林氏から、「ITU-R新報告案M.[RLS 3-50 MHz SHARING]の修正提案」及び「ITU-R新報告案M.[OCEAN-RADARS]の修正提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、特段の質疑はなく承認された。

【資料地13-3-12】

岩間氏から、「標準レーダーへの情報付加によるe-Navigation改善の可能性」についての寄与文書案の説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本構成員：アウトプットはどのようなものを期待されているのか。

岩間氏：具体的なアウトプットはまだないが、レーダーにも情報を載せられるということのをこれを起点として示したいというもの。

宮澤氏：e-Navigationの中に新しいツールとして検討ができるかなという程度の情報として入力するもの。

橋本構成員：どのくらいの期間でやるのか。もしITUで長期間に渡ってやるということであれば、研究課題ということでやる方法もある。

宮澤氏：今回はとりあえず提案をしてみて、様子を見ながら今後検討していきたい。

中村構成員：本件は昨日になって急に皆様に提示させてもらったものである。色々とデータはすでにあるが、最初からすべて出すと今後の展開も読みにくいので、詳細なデータを出すことに反対をした。また、まだWGの方で少々手直す可能性もある。ご理解いただきたい。

【資料地13-3-13】

荒木氏から、「勧告ITU-R F.1336改訂作業文書の修正案 1-70GHzにおける共用研究用P-MP方式オムニ、セクタアンテナ等基準放射パターン」の寄与文書案に関するについて説明が行われ、特段の質疑はなく承認された。

【資料地13-3-14】～【資料地13-3-16】

橋本氏から、「SF-series 勧告の見直し」、「WP5C割り当て研究課題検討のベース」及び「勧告ITU-R F.758-4の改訂作業完了に伴う提案事項 デジタル方式固定業務と他業務・他干渉源との共用・両立性基準策定の考察」の寄与文書案に関するについて説明が行われ、特段の質疑はなく承認された。

【資料地13-3-17】及び【資料地13-3-18】

枚田氏から、「Report ITU-R F.2107-1 の改定」、事務局から「WP4Cへのリプライリエゾン文書の要素提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本構成員：資料地13-3-17について、SG7関係の国立天文台の大石氏からコメントがあったと思うが、そのコメントも反映したものであるのか。

枚田氏：大石氏からはこの文書で概ね了という回答をもらっている。

橋本構成員：了。なお、p255のアンダーラインの箇所(注)の文の繋がりが悪いため、適宜見直すように。

橋本構成員：資料地13-3-17について、一般の固定業務にBASと同じPFDIにすると

いうことは避けるべき。もし、固定業務とBASを両方問題とすべしという趣旨であれば、requirementは分けて書いた方が良い。

事務局:了。

高畑主査:それでは、資料地13-3-17については若干の修正を、資料地13-3-18については橋本氏の意見を踏まえつつWGで文書を作成するという事とする。

#### (4)ITU-R SG5関連回会合への対処方針について

##### 【資料地13-4】

事務局より、ITU-R SG5 関連会合への対処方針(案)について説明があり、修正の必要がある寄与文書については、10月28日(水)までに事務局に提出することになった。対処方針について、以下のコメントがあった。

橋本構成員:対処方針についてWP5A、5B、5Cで形式的に差異があると、対処についても大きく違うように見えてしまうので、問題がなければWP5CもWP5A、WP5Bと形式的に揃えるべき。

事務局:そのように修正する。

#### (5)その他

##### 【参考資料1~4】

事務局から各参考資料の説明があった。

また、承認された寄書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性のある旨、事務局から了承を求め、承認された。

以上